

平成25年度

事業報告書

学校法人 岡崎学園

I 法人の概要

1 建学の精神

「誠 愛」

本学園が、教育理念に掲げる「誠」は中国の古典『中庸』の教えであり、「愛」はキリスト教の掲げる精神です。いずれも二千年以上にわたって受け継がれた思想で、何時の時代でも、何処に行っても、人が人として社会生活を営む上で必要とされる普遍性を持ったものです。

「誠」とは、真実で嘘・偽りのないものという意味です。人間は欲のある動物ですから、邪（よこしま）な考えをしがちです。だから、教育によって真実で嘘・偽りのないものを求める人とならなければならないのです。そして、「誠は、天の道なり。これを誠にするは人の道なり」というのは、嘘・偽りのないものは、天の道であるから、人は天の道であるから、人は天の道に従って生きるよう努めよ、と言っているのです。

「愛」はキリスト教の根本思想です。最近いじめによる子どもの自殺や若い親による幼児虐待事件といった心を痛める事件が後を絶ちません。これは愛の問題です。親子、夫婦、家族、兄弟姉妹、師弟、郷土等様々な人間関係における相手を思いやる「愛」という潤いが日々失われ、殺伐とした事件を引き起こしているのではないかと思えてなりません。

本学園の教育理念である「誠 愛」は、人が最も陥りやすい過ちに対する戒めと、明るく健全な社会を築く上の羅針盤です。様々な場所で様々な教育を受けられた皆さんが本学園に集い、新たな師、新たな友と共に研鑽を積まれ、社会の人々の心に「誠 愛」の灯をともし、美しい世の中を創る先兵となって頂けることを本学園として願って止みません。

(本学ホームページ「教育理念」より抜粋)

2 学校法人の沿革

明治 39年	6月	白井こう女史、岡崎裁縫女学校設立認可、開校
昭和 6年	9月	岡崎高等家政女学校と改称
昭和 17年	3月	財団法人岡崎高等家政女学校認可
昭和 23年	3月	岡崎家政高等学校と改称
昭和 26年	2月	学校法人岡崎家政学園に組織変更
昭和 29年	11月	岡崎晨星中学校廃止 岡崎女子高等学校と改称
昭和 32年	6月	創立 50 周年記念式挙行
昭和 51年	10月	創立 70 周年記念式挙行
昭和 56年	11月	学校法人岡崎学園と改称
昭和 61年	11月	創立 80 周年記念式挙行
平成 4年	4月	岡崎学園国際短期大学開学 岡崎学園高等学校と改称

平成11年12月 人間環境大学の設置認可
 平成12年 4月 人間環境大学開学
 平成13年 4月 人間環境大学岡崎学園高等学校と改称
 平成14年 4月 人間環境大学岡崎学園高等学校男女共学化
 平成14年 5月 岡崎学園国際短期大学廃止
 平成15年 4月 人間環境大学大学院開学
 平成17年 4月 人間環境大学岡崎学園中学校開校
 平成18年 6月 学園創立100周年記念式挙行
 平成22年 4月 服部良男理事長就任
 平成22年11月 白井恵三理事長就任
 平成23年 3月 河原次瞭理事長就任
 平成26年 1月 文部科学省より (学) 岡崎学園・(学) 河原学園との合併認可
 平成26年 3月 (学) 岡崎学園解散

3 設置する学校・学部・学科等

学校名	開校年月	学部・学科等	摘要
人間環境大学 大学院	平成15年4月	人間環境学研究科	
人間環境大学	平成12年4月	人間環境学部 人間環境学科 環境コース 経営コース 心理コース 日本研究コース	
人間環境大学 岡崎学園高等学校	明治39年6月	全日制課程 普通科	
人間環境大学 岡崎学園中学校	平成17年4月		平成23年度 より募集停止 平成25年度 より休校

4 学校・学部・学科等の学生数の状況

平成25年5月1日現在

(単位：人)

学校名	研究科、学部、専攻、課程名等	入学定員	収容定員	現員数
人間環境大学大学院	人間環境学研究科	8	16	13
人間環境大学	人間環境学部	200	800	516
人間環境大学 岡崎学園高等学校	全日制課程 普通科	315	945	670
人間環境大学 岡崎学園中学校		0	80	0

5 役員の概要

平成26年3月31日現在

定員数 理事 8～9名、監事 2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	河原 次瞭	常勤	平成23年3月理事及び理事長就任 学校法人河原学園 学園長
理事	八木 聰明	常勤	平成23年4月就任 人間環境大学 学長
理事	藪田 敏行	常勤	平成25年4月就任 人間環境大学岡崎学園高等学校 校長
理事	河原 成紀	非常勤	平成23年3月就任 学校法人河原学園 理事長
理事	橋本 正剛	常勤	平成23年10月就任 人間環境大学岡崎学園高等学校事務長
理事	芦田 宏直	常勤	平成23年3月就任 人間環境大学 副学長
理事	村松 伸年	非常勤	平成25年6月就任 学校法人名古屋大原学園理事長
理事	服部 良男	非常勤	平成22年4月就任 服部工業株式会社代表取締役社長
理事	越智 節也	非常勤	平成23年4月就任

			元愛媛県高等学校長協会 副会長
監事	浅山 敏浩	非常勤	平成23年4月就任 岡崎信用金庫イノベーション推進部長
監事	倉田 三郎	非常勤	平成23年12月就任 大阪国際大学名誉教授

6 評議員の概要

平成26年3月31日現在

定員数 17～21名

専任条項 (寄附行為)	氏名	主な現職等
職員 (第18条の1)	藪田 敏行	人間環境大学岡崎学園高等学校 校長
	片山 幸士	人間環境大学 特別任用教員
	田中 爲雄	人間環境大学岡崎学園高等学校 教頭
	林 英子	人間環境大学岡崎学園高等学校 副校長
	山脇 博美	人間環境大学 事務局 事務局長
	茅野 峰雄	人間環境大学岡崎学園高等学校 教育力向上委員会 議長
卒業生 (第18条の2)	早川 りょう	(卒業生)
	可児 千恵子	(卒業生)
	藤井 芳一	人間環境大学 助教
	田中 聡一	人間環境大学岡崎学園高等学校 教諭
理事 (第18条の3)	河原 次瞭	学校法人岡崎学園 理事長
	河原 成紀	学校法人岡崎学園 理事
	八木 聡明	人間環境大学 学長
学識経験者 (第18条の4)	服部 良男	服部工業株式会社 代表取締役社長
	菅沼 剛	人間環境大学岡崎学園高等学校 非常勤講師
	遠藤 幸裕	学校法人河原学園 職員
	杉山 孝男	学校法人名古屋大原学園学園理事兼学園長
	芦田 宏直	人間環境大学 副学長
	橋本 正剛	人間環境大学岡崎学園高等学校 事務長

7 教職員の概要

平成26年3月31日現在

(単位：人)

区分	法人	大学	高校	中学	計	
教員	本務	0	34	(注2) 47	0	81
	兼務	0	44	14	0	58
職員	本務	1	17	7	0	25
	兼務	0	(注1) 78	(注3) 14	0	92
合計	1	173	82	0	256	

(注1) 学生バイト 38名含む

(注2) 育休1名除く

(注3) 校医他3名含む

8 その他

系列校及びグループ法人等なし

II 事業の概要

1 事業の概要

大学は、学生やその保護者が、本学入学時点でこれから進む方向性の選択が明確にでき、卒業時点でどのように社会に貢献できる人材になるかという目標が明らかになるように、4つのコース（環境、経営、心理、日本研究）を中心に据えたカリキュラム改訂を行い、平成24年度入学者から適用した。

また、各コースには責任者として「コース長」を配置し、新しいコース制が授業計画・シラバスに基づいて改革通り行われているかをチェックし、これをカリキュラムにフィードバックする。

専任教員の評価制度に関しては、学外顧問のブレインアカデミーを中心に平成24年度中にシステム構築を完了し、平成25年度は評価項目に関する情報収集（及び方法）と収集データの精度検証等を行った。

高校では、人間教養コースのスポーツ専攻は2年目を迎え、より専門性の高い指導に取り組み、成果をあげている。

特進コースは、ほぼ昨年度の方針を継承し、手厚い指導を実施した。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 大学部門

「戦略的大学連携支援プログラム」、「学生支援推進プログラム」及び「就職支援推進事業」の充実、公開講座の開講や市民カレッジへの協力等地域との連携を深める事業にも注力した。

① 戦略的大学連携支援プログラム（補助期間が平成23年度で終了し、平成24年度から平成30年度までは事業継続の約束期間に入る）

- ・ 取組み名称：大学学部教育における「環境教育」共通カリキュラム開発のための戦略的大学連携事業

本学（代表校）、鳥取環境大学、京都学園大学、豊橋技術科学大学

- ・ テレビ会議システムを利用した授業相互利用の実施（前期2科目、後期1科目）
- ・ 共同フィールドワークの実施（当番校：京都学園大学「変りつづける琵琶湖」）

② 就職支援推進事業

- ・ 学生相談スタッフ3名配置（4月～3月）
- ・ 非常勤キャリアアドバイザー1名配置（4月～2月）
- ・ キャリアデザインⅠ・Ⅱ科目を開講（前期）
- ・ ビジネスコミュニケーション科目を開講（前期）
- ・ キャリアガイダンスを実施（4月）
- ・ 3年生向けキャリアハンドブックを配布（7月）

- ・就職ガイダンスを開催（7～11月／年8回）
- ・就職適性検査、就職実践模試等を実施（6～10月／年3回）
- ・インターンシップ派遣前マナー研修会を実施（7月）
- ・夏季インターンシップ（キャリアデザインⅢ科目）を実施（8～9月）
- ・就活トレーニング合宿を開催（11月）
- ・企業向け大学案内を作成し、企業等約2,500社へ発送（1月）
- ・学内企業説明会を開催（2月）
- ・就職集中講座を開講（2月）
- ・模擬面接を実施（2月～）

③ 平成25年度の主な事業

- 4月 入学式 学部生 145名（転・編入学生9名を含む）
大学院生 6名
公開講座申込者数 前期 39名（71講座）
後期 39名（81講座）
- 5月 名古屋市生涯学習センター大学連携講座 受講申込者数 91名
- 6月 岡崎学園高校PTA進路講演会 6/15 人間環境大学紹介
岡崎学園高等学校PTA教育座談会 6/20 大学訪問 18名（内高校教員3名）
岡崎学園高等学校人間教養コース3年生「大学説明会」6/12 大学訪問 74名
岡崎学園高等学校特進コース3年生「大学説明会」6/15 大学訪問 132名
人間環境大学「大学説明会」6/7 名古屋 15名 6/11 本学 18名 6/14 豊橋 2名
- 7月 岡崎市市民カレッジ第1回 受講申込者数 38名
- 8月 免許状更新講習実施（必修講座1、選択講座8講座）
高大連携協定による大学見学
愛知県立海翔高等学校普通科環境コース 8/1 1年生 9名、教員 3名
愛知県立田口高等学校普通科 8/29 1年生 29名、2年生 27名、教員 4名
- 9月 岡崎市市民カレッジ第2回 受講申込者数 50名
岡崎学園高等学校文化祭に「人間環境大学ブース」出展 9/22
- 10月 岡崎学園高校保護者向け講演会 坂本助教、日比野学部長 10/5 PTA 19名
岡崎学園高校2年生向け講演会 磯貝教授 10/16 2年生 230名
- 12月 岡崎学園高校保護者会3年生「人間環境大学相談コーナー」設置 12/4、12/5
6名
豊橋市立豊橋高校「心理コース大学見学会」12/17 1年生～3年生 11名
- 2月 海外大学（台湾）との交流事業 台湾東海大学学生 20名、本学学生 5名
- 3月 岡崎学園高校1年生大学見学 3/14 231名、引率教員 14名
学位授与式（15日） 学部生 91名
大学院生 7名

(2) 高校部門

入学から卒業まで一貫した指導体制を敷くために、教員組織を従来からの学年制からコース制へと変更した。

その上で、各コース・専攻の教育目標を明確にして、その達成を図った。

・各コース・専攻の概要

① 人間教養コース・一般教養専攻

本学の女子教育の伝統を受け継ぐ、女子のみで構成されるコースである。

生徒一人ひとりの興味・関心に応えつつ、その能力や個性を育成するため、今年度は、授業後の補習や、土曜講座を開講した。

また、マナトレ（学び直しのためのドリル）を毎日 10 分間取り組ませ、基礎学力の充実を図った。

就職を希望する生徒に対しては、夏期補習を実施し、担任面談や三者懇談を通して適切なアドバイスを行うとともに、志望企業に合せた面接指導などきめ細かい指導を心掛けた。

② 人間教養コース・スポーツ専攻

カリキュラムの中に学校設定科目（「体づくり」、「体育理論」、「専門実技」）、取り入れることで、より技術力の向上に努めた。

その結果、女子バレーボール部は全国大会（夏のインターハイと春高バレー）出場、駅伝部も今一步のところまで都大路での力走はかなわなかったものの、全国レベルの生徒が育っている。

スポーツを通して、学力、人間力の向上に力を注いだ。

③ 特進コース

学習時間の確保を最優先としたカリキュラムにより、さらなる学力の向上に努めた。

サテライト講座の有効な活用を行い、学力向上の一助とした。

さらに、朝学、授業後の補習、土曜補講の出席率の向上を図った。

個々の生徒の能力に合わせた指導、進路指導における面談の充実に関心した。

また、部活動への参加を奨励し、学業と部活動の両立を心掛けさせた。

・平成 25 年度の主な行事

4 月	入学式（入学者数 231 名）
5 月	遠足
6 月	体育大会
7・8 月	ニュージーランド語学研修 参加者（引率者含む）11 名
9 月	文化祭 合唱コンクール
10 月	宿泊研修（1 年生） 文化講演会（大住力氏）
11 月	私学協会清掃活動

- 1月 大学入試センターテスト
- 2月 予餞会 卒業式 (卒業生数 208名)
- 3月 球技大会 修学旅行 (2年生)

(3) 中学部門

平成 23 年度からの募集停止を決定したため在籍者なし。

平成 25 年 4 月から休校。

3 施設等の状況

1 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘要
岡崎市稲熊町	校地	72,531.78 m ²	968,154 千円	
	校舎 3 棟	11,953.60 m ²	1,012,160 千円	
	寄宿舍	984.90 m ²	30,840 千円	
	倉庫	21.16 m ²	787 千円	
	クラブハウス	68.18 m ²	13,854 千円	大岩グラント
	グラント設備		16,890 千円	大岩グラント
岡崎市本宿町	校地	38,422.00 m ²	292,542 千円	
	校舎 8 棟	10,548.07 m ²	1,132,464 千円	
	弓道場	92.40 m ²	3,994 千円	
	実験棟	24.00 m ²	6,544 千円	
岡崎市本宿町	校地	410.83 m ²	103,540 千円	法人持分
	校舎	99.25 m ²	6,300 千円	法人持分

2 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

特に記載すべき事項はなし。

4 その他

該当なし